

様式第2号（第9条関係）

会議録

| | | |
|--------------|--|--|
| 会議の名称 | 令和5年度廃棄物減量等推進審議会第1回会議 | |
| 開催日時 | 令和6年1月31日（水） 開会 午前1時30分 閉会午後3時 | |
| 開催場所 | ふじみ野市役所本庁舎5階 A501・502 会議室 | |
| 出席した者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物減量等推進審議会委員 森下会長、横田副会長、松原委員、内山委員、大平委員、上野委員、鈴木委員、富田委員、塩野委員、永吉委員 ・ ふじみ野市 ・ 事務局（環境課） 坂本課長、野原主任、齋藤主任 | |
| 会議の議題 | <p>1 会議</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) 会長あいさつ</p> <p>(3) 議題 一般廃棄物処理基本計画の進捗状況 災害廃棄物処理基本計画作成の進捗状況について</p> <p>(4) その他</p> <p>(5) 閉会</p> | |
| 会議の公開又は非公開の別 | 公開 | |
| 会議の非公開の理由 | — | |
| 傍聴人の数 | — | |
| 会議の内容 | 別紙のとおり | |
| 会議資料 | 別添のとおり | |
| 事務局 | 市民活動推進部 環境課 | |
| 議事の確定 | 確定年月日 | 令和6年 2月 7日 |
| | 記名押印 又は署名 | 役職名 会長 森 下 英美子 ㊟ |

別紙

発言の要旨

| 発言者 | 発言の要旨 |
|-------|--|
| 森下会長 | 議題「一般廃棄物処理基本計画の進捗状況」ということで、事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | ○配布した【参考資料1】に基づき説明 |
| 森下会長 | ありがとうございます。説明について何かご質問等ありますか。 |
| 松原委員 | 紙ファイルは、今後も作成するのか。 |
| 事務局 | 庁内で周知を行っておりますが、コストが高いという課題があるが、プラスチック削減の為に、まずは環境課が率先して行っていき、関係各所でも利用してもらえようやっていきたい。 |
| 松原委員 | 従来のクリアファイルの方が頑丈なのではないか。どうしても商品価値としては低いと思う。長く使ってもらえないのではないか。 |
| 事務局 | 使い方によっては、実用性に乏しい点で普及しないかもしれないので、プラスチック削減については、今後も調査研究していく。 |
| 内山委員 | 私は逆の意見で使い勝手が悪くても紙ファイル必要と考えている。プラスチックは非常に便利な物ではあるが、反面、温室効果ガスは増加している。国民全体で温室効果ガスを減らしていく為に現状を打開しなければいけない時期にきている。啓発活動の中でプラスチックは必要ないということを世の中に浸透させていかなければならない。プラスチックを減らしていかないと次世代の子供達に同じような環境を残せないという危機感を持たないといけない。ヤオコーとしては年に数回環境セミナーを開催しているが、子供達に教えようと長時間行っても、誰も理解してくれない。子供達に「意義」ということを理解してもらうには民間ではできない部分と感じている。行政を使った組織力というのは民間で真似できないことなので、このことについては是非やって頂きたいし、期待している部分である。 |
| 横田副会長 | 私も先程、ファイルの強度を確認したが、破れてしまった。もう少し強度のある物を作ってほしい。 |

| 発言者 | 発言の要旨 |
|-------|--|
| 事務局 | <p>使い勝手が悪いと長く使われないというご意見は理解できる。紙ファイルに限らず、違った形でプラスチックの削減、食ロスの減少という部分を私達行政が啓発し、発信していくことが使命と考えている。今後も、こういった場のご意見や情報を活かしながら継続して業務を行っていく。</p> |
| 横田副会長 | <p>今後、このバンブーファイバー製のランチボックスやカトラリーは、どのように啓発していくのか。</p> |
| 事務局 | <p>このような素材を目にして頂くことが重要と考えている。確かにプラスチック素材の手軽で安価な物に頼ってしまうが、ランチボックス等の啓発品を日常で利用してもらうことでごみ減量に繋がってもらえればと、考えている。</p> |
| 横田副会長 | <p>環境フェアでも容器の持ち込みを提案したが、却下された。こういう物を使えば、ごみ減量に繋がるので、行政側も違った発想をもってほしい。</p> |
| 事務局 | <p>検討していく。</p> |
| 松原委員 | <p>啓発品を作る以上は、使えるちゃんとした物を作っていくべきと考えている。</p> |
| 事務局 | <p>啓発品として作成したので、職員は、使用してない。ただ、使用していくことで、良い点、悪い点がわかるので、メーカーにフィードバックしていくことで企業と連携し、ご意見を頂戴しながら作成し改善していきたい。</p> |
| 森下会長 | <p>他に何かあるか。ないようであれば、私から一言。このバンブーファイバーは非常に良い素材で、竹林の減少は問題になっている。近所でも竹林が大きくなりすぎてどうにもならない現状がある。大量に処分される竹をこのような物にするのはすごく良い取り組みだと思う。</p> |
| 森下会長 | <p>続きまして、災害廃棄物処理基本計画の概要について。市報等に折り畳み式のものを挟み込む等、いずれは市民全体に行き届くよう検討していきたいと考えています。</p> |

| 発言者 | 発言の要旨 |
|------|--|
| 事務局 | 資料に沿って説明。 |
| 森下会長 | 質問ありますか。 |
| 永吉委員 | 仮置場の選定は順調か。難航しているか。 |
| 事務局 | 市内を見回しても、大きな土地が多くなく、都心に近い地域は仮置場の選定は難しい問題となっている。市内でも被災状況によってだが、候補地は複数あり、被害状況に応じて設置場所は検討していく。 |
| 富田委員 | 市内で災害が発災した場合、推計で1万トンとなっているがこのごみ量をどのように処理していくのか。また、仮置場にどれくらいのごみを置けるのか。 |
| 事務局 | ふじみ野市・三芳町環境センターは1日に142トンのごみを処分する能力がありますが、もちろん環境センターだけでは処分できないので「埼玉県清掃研究協議会」という県内の市町村が加入している団体に協力を依頼し処理をしていく流れになっている。仮置場については固定しておらず、被害状況に応じて設置場所は検討していく。 |
| 森下会長 | 推計1万トンというごみ量が想像できない。すごく恐ろしい問題と痛感した。 |
| 事務局 | このごみ量を処理していくことは、ふじみ野市だけでは難しいことなので、災害が発生した際、埼玉県、国とスムーズに連携がとれるよう計画を策定していく。 |
| 森下会長 | 他に何かございますか。 ないようでしたら、災害廃棄物処理計画については以上とします。続きまして、次第の(4)その他について事務局からお願いします。 |
| 事務局 | 今年度の審議会は、今回が最後となります。来年度の審議会については、再度依頼、委嘱を予定していますので、ご協力よろしく申し上げます。 |

| 発言者 | 発言の要旨 |
|-------|--|
| 森下会長 | 最後に、一人一人からご意見や感想をいただきたいと思います。 |
| 横田副会長 | このような場に出た意見が、政策に反映されると良いと思います。 |
| 内山委員 | 4つの行政の審議委員をさせてもらっているが、ふじみ野市の計画、進捗状況については1番充実していると感じている。どのような政策でゴミ量が減少したという、具体的な内容があるとより良くなると思いました。 |
| 大平委員 | 今日話題になった、バンブーファイバーだが、七夕まつりでは多くの竹飾りを使っている。使った後の竹がどうなっているのか興味がある。 |
| 永吉委員 | 一般廃棄物の問題は、いかに多くの人を巻き込んでいけるかというところだと思っています。引き続き、行政の立場として連携できればと思っています。 |
| 上野委員 | 東日本大震災の時に、現地で廃棄物の処理を行った。埼玉県については河川が多く水害が懸念される。市内でも過去台風の被害あり、大変な状況だったと記憶している。行政だけの問題ではなく市民一人一人が意識することが重要と感じた。 |
| 鈴木委員 | 私たちも過去、台風の際に福岡地区、寺尾地区の廃棄物処理を行った。有事の際は、私たちも市民の役に立てると考えている。今回このような計画を策定しているので有効活用できるようにして欲しい。 |
| 富田委員 | 町内会として、ゴミ減量に取り組むことが難しくなっているのが現状。クリーン推進員の活用方法等も検討していただくようお願いします。 |
| 塩野委員 | 災害廃棄物処理計画については非常にタイムリーな話題で気になっていた。有事の際は、行政がリーダーシップをとって進めていただければと思います。 |

| 発言者 | 発言の要旨 |
|-------|---|
| 松原委員 | <p>計画に掲載されているごみ量の推計値は、今後大きく変化しないと思っている。今後は行政だけでは限界があるので、異なる団体、企業と連携していくことで変化してくるのではないかと思う。初めての参加で勉強することも多かったが、ふじみ野市はごみ減量が進んでいるとのことで、今後も基本計画に沿って取り組んでいってもらうようお願いいたします。</p> |
| 森下会長 | <p>災害廃棄物の件で、東日本大震災の時70パーセントリサイクルできたという話を報道で知りました。災害時でもリサイクルを想定していかなければということを理解しました。2つ目はプラスチック新法についてですが、今後、どの市町村も分別で頭悩ますのでは思ったのですが、ふじみ野市は既にその分別方法を採用していて、国よりも早く政策として取り組まれていること、ごみ量でも、県内でも高い水準を保ち続けていることが理解できました。今後も先を見据えて、ごみ減量に努めて頂ければと思っています。</p> |
| 森下会長 | <p>他に何かありますでしょうか。ないようであれば、今日の会議はこれで終了とさせていただきたいと思います。閉会については、副会長よりお願いします。</p> |
| 横田副会長 | <p>『令和5年度ふじみ野市廃棄物減量等推進審議会第1回会議』を閉会いたします。 ありがとうございました。</p> |